

令和元年10月24日

市長公室企画広報課

報道機関各位

市制 70 周年記念キャッチフレーズ

関市は、1950年(昭和25年)県下で5番目に市制が施行され、2020年(令和2年)に市制施行70周年を迎えます。

本市では、市民の皆さまとともに70年の節目を祝い、未来への確かな一歩を踏み出す契機とするため、様々な記念事業を展開していくこととしています。

このたび、本記念事業の周知や、機運の醸成につなげていくため、キャッチフレーズを制作しました。

キャッチフレーズ

きせきを未来へ

- ポイント
- ・ これまでの軌跡と先達への感謝
 - ・ 未来への希望
 - ・ 関市民としての誇りの醸成

キャッチフレーズは、市内小中学校の児童生徒から応募いただいた作品を参考として、誕生したものです。

※児童生徒からは、延650の応募をいただきました。応募作品の中から6点(最優秀賞2点、優秀賞4点)を選定し、賞品として図書券を贈呈します。

最優秀賞

きせき あふれるまち せきし

田原小学校2年 板坂 凜心(いたさか りこ)

私の住む関市には、たくさんの「き」があります。「きれい」な長良川、「きらきら」かがやくアユ、よく「切れる」刃物、市の花「きく」、特産品の「キウイ」。そして、「きぼう」を持っている私たち。関市に生まれた「きせき」に感謝して、これからもたくさんの「き」であふれている関市「き・せき」に住み続けたいと思い、このキャッチフレーズにしました。

最優秀賞

豊かな自然、守る伝統、安全な暮らし、未来へつなぐ我が関市

旭ヶ丘中学校1年 佐野 来実(さの くるみ)

「山や川や作物などの自然がとても豊かな関市」と、「刃物や鵜飼などの昔から受け継がれてきた伝統が守られつづけている関市」と、「地域の人子どもたちを見守り、みんなで支え合って協力することで安心して暮らせる関市」の3つが関市にとっての誇りで、こんなにすてきな関市でこれからもあってほしくて、住み続けていきたいと思ってくれるようにしたいからです。

優秀賞

これからもみんなに愛される関市へ

板取川中学校2年 佐野 琉星 (さの りゅうせい)

関市がこれからもみんなに愛されてほしいと思ったからこのキャッチフレーズにした。

優秀賞

おばあちゃん おじいちゃんになるまでこの町で

緑ヶ丘中学校3年 中村 天音 (なかむら あまね)

ずっとここですごすため。

優秀賞

新しい歴史をみんなでつくろう関市70周年

板取川中学校2年 石原 綺乃 (いしはら あやの)

関市の歴史をみんなでつくりたいと思ったからです。70周年の記録をみんなで祝いたいです。

優秀賞

わたしは、大きくなってもここでかぞくといっしょにくらしたい。

富岡小学校1年 服部 華歩 (はっとり かほ)

わたしは、なんでかというとお父さんとお母さんが好きなのでいっしょにくらしたいです。
せきしが好きです。

関市70周年記念キャッチフレーズは、市制施行70周年をより多くの方に知っていただくため、また、「70周年記念事業」を広くPRするため、本日以降、市広報誌や市ホームページ、各種の印刷物への掲載などに広く活用していきます。

【報道機関からの問合せ先】 関市市長公室企画広報課広報係 0575-23-9261